



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society
北海道支部

もっと伝えたい。北海道の赤十字のこと。

赤十字ほっかいどう

赤十字の活動資金へご協力をお願いいたします



真剣な眼差しで被災者役に扮する
赤十字ボランティアの話を聞くところのケア要員

CONTENTS

北海道胆振東部地震から1年 …………… 2P (赤十字災害救護訓練)	新しい仲間が増えました …………… 6P (青少年赤十字加盟登録式)
トレーニング・センター開催 …………… 3P	わが町の赤十字奉仕団 …………… 7P
平成30年度事業報告 …………… 4P・5P	胆振東部地震義援金受付・送金状況 … 8P

北海道胆振東部地震から1年

最大震度7を観測した平成30年北海道胆振東部地震。

北海道で初めての経験となった295万戸の大規模停電(ブラックアウト)や34市町村が断水するなど大きな被害をもたらし、44名の尊い命が失われました。

北海道支部は、発災直後から救護体制を整え、札幌市をはじめ、特に被害の大きい厚真町・安平町・むかわ町で関係機関と連携を密にしながら、救護班とこころのケア班を中心に被災者や支援者の心に寄り添って37日間の活動を行ないました。

私たちは、地震や津波など自然災害が起こることを防ぐことはできません。

災害を100%防ぐことはとても難しいことです。

昨年の地震は、日頃の備えと心構えが、いかに大切かを改めて認識した災害となりました。

発災から1年。

これから起こるであろう災害に対する備えはできていますか？

家庭や地域での具体的な取り組みは進んでいますか？

災害を経験した私たちだから、経験した今だから、できることがあります。

災害を対岸の火事と捉えず、日頃から、自宅や地域にどのような被害が発生するかを想像し、被害を減らすための取り組みを進め、いざというときに備えましょう。

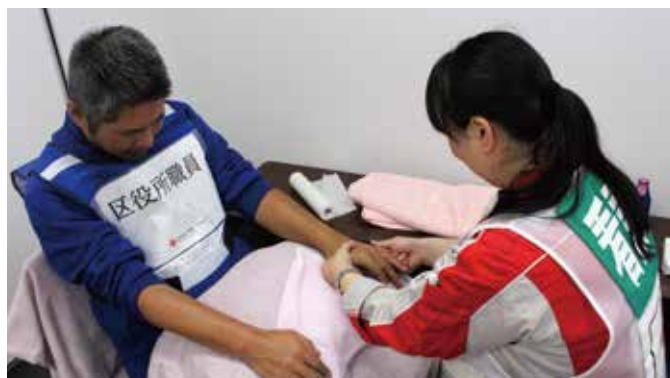
～赤十字災害救護訓練～

北海道支部では、この胆振東部地震災害救護活動を通じて明らかになった「こころのケア」の重要性について、改めて理解と知識を深め、災害対応能力の向上を図ることを目的とし、9月11日(水)・12日(木)の2日間にわたり、道内赤十字病院のこころのケア班ならびに防災ボランティア(札幌市赤十字奉仕団)による赤十字災害救護訓練を実施しました。

胆振東部地震災害救護活動で実際に使用した報告様式を用いた学習訓練のほか、最大震度7の札幌直下型地震を想定した被災者支援・支援者支援の実働訓練、また、ボランティアによるこころのケアの心構えなど、本災害における救護活動の検証とその教訓を生かした訓練内容で、より実践に近い知識と技術を身に付けることができました。



避難所に見立てた会場で訓練に臨むこころのケア班



支援者支援としてハンドマッサージを行う、こころのケア要員

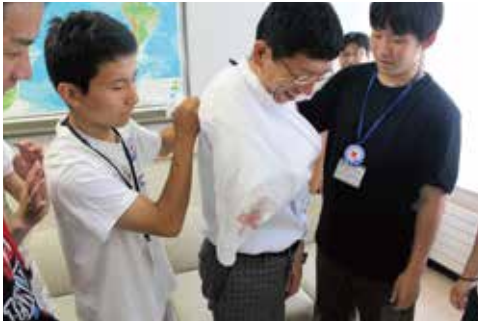


非常時に有効な通信手段となる無線機を使った訓練

青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター開催 ～道内4会場でリーダーシップを学ぶ～

青少年赤十字(以下JRC)の教育プログラムのひとつに、リーダーシップ・トレーニング・センター(以下トレセン)があります。トレセンは、集団生活を通して、「リーダーシップの取り方を学ぶこと」を目指し、赤十字の基本原則や国際人道法を学び、JRCの願いである人道的な価値観を育みます。

このトレセンが7月から8月にかけて道内4会場で開催され、加盟校21校からメンバー105名と指導者77名が参加しました。



三角巾を使った応急手当

道央会場:札幌市 [開催日:8月1日(木)・2日(金)]

札幌市内加盟校4校、20名のメンバーが参加しました。

道央会場では、JRCの実践目標である「奉仕」「健康・安全」「国際理解・親善」の理解を深めるほか、三角巾を使った応急手当の方法など学びました。



『非常持ち出し品』の発表

道北会場:旭川市 [開催日:7月26日(金)]

旭川市・富良野市の学校から5校、24名のメンバーが参加しました。

道北会場では、各学校のJRC活動の紹介を行ったほか、グループワークで避難時に持参する「非常持ち出し品」の中身を考え、グループごとに発表しました。



フィールドワークでパズルに挑戦

道南会場:函館市 [開催日:8月1日(木)・2日(金)]

渡島管内を中心に5校、36名のメンバーが参加しました。

道南会場では、フィールドワークを行い、函館市内の谷地頭エリアを会場として期間中に学んだ赤十字の学習を振り返り、グループごと課題に挑戦しました。



模擬血液製剤を触ってみました

道東会場:北見市 [開催日:8月6日(火)～8日(木)]

オホーツク・十勝・釧路・根室管内を中心に7校、25名のメンバーが参加しました。

道東会場では、「献血セミナー」が行われ、血液の働きや献血・輸血について学んだほか、日本赤十字北海道看護大学・尾山とし子教授を迎え、「まもるいのち ひろめるぼうさい」についての講演が行われました。

広報

17,577,179円

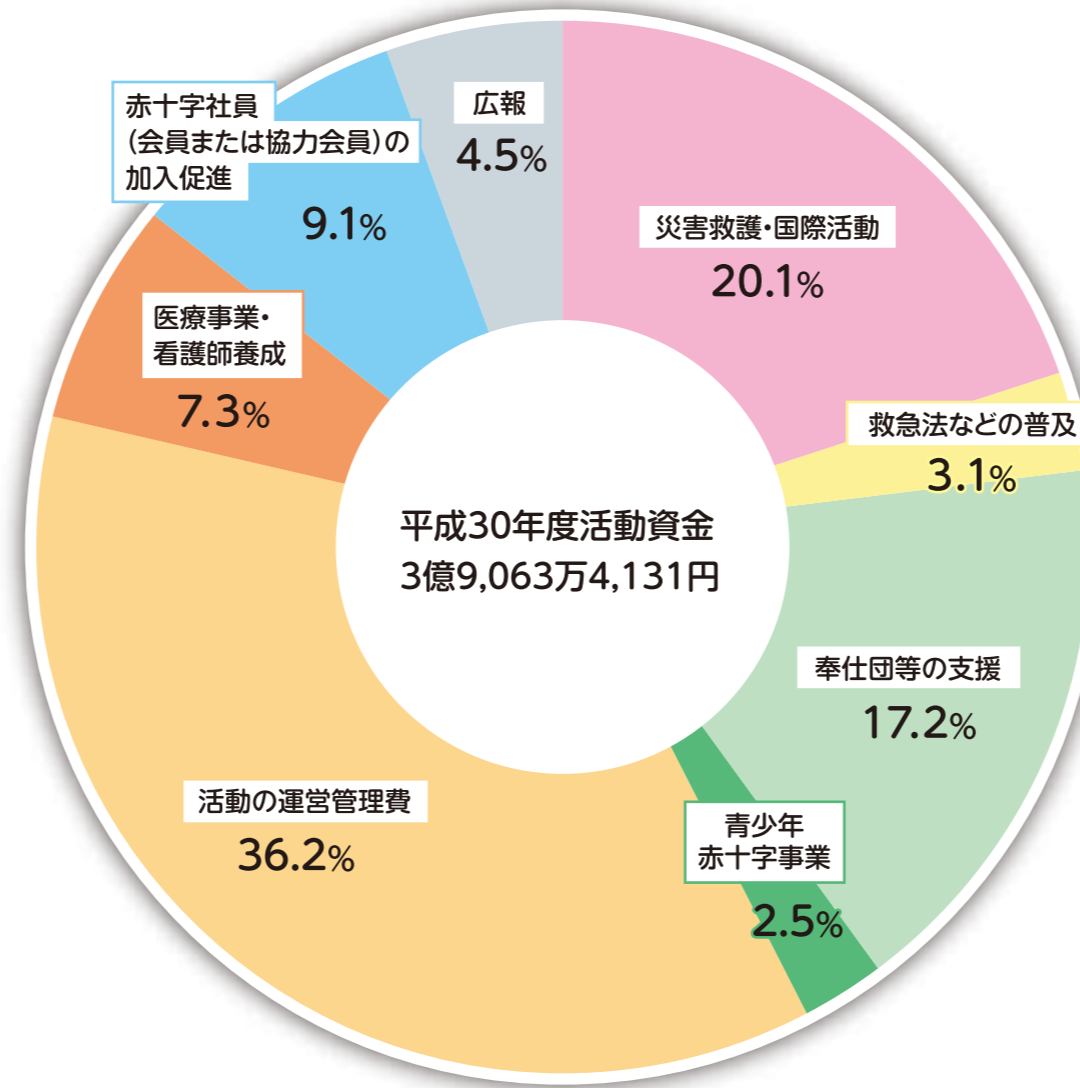
- イベント開催・参加7回
- 道内赤十字病院での赤十字フェスティバル10会場
- チラシやポケットティッシュなど広報資材の作成
- 支部ホームページ・フェイスブックの運用



イベントでの心肺蘇生法の普及

平成30年度のご協力ありがとうございました

平成30年度はみなさまから3億9,063万4,131円のご協力をいただきました。
まことにありがとうございました。
みなさまからいただいた活動資金をもとに行った主な事業を報告いたします。
なお、6月に行われた令和元年度第1回評議員会にて平成30年度の一般・医療・血液・福祉それぞれの事業報告及び歳入歳出決算が承認されました。



赤十字社員(会員または協力会員)の加入促進

35,399,584円

- 各種協会・団体を通じた法人社資の募集活動
- パンフレットや領収書などの募集用資材の作成
- 担当者研修会の開催

医療事業・看護師養成

28,508,599円

- 個人や法人から赤十字病院に対しての寄付による事業
- 看護師養成事業の運営管理費

青少年赤十字事業

9,607,830円

- 子どもたちの宿泊型研修
- 活動への助成
- 教員等の研修(本社等主催)
- 教員等の研修(支部主催)



三角巾を使った額の手当て

活動の運営管理費

141,565,469円

- 赤十字会館等の維持費
- 血液事業の運営管理費
- 職員の人件費
- 社会福祉事業の運営管理費

※赤十字はボランティアが中心となって活動していますが、事業が円滑に進むよう専任の職員がボランティアとの調整や救援物資・資材の調達、訓練や講習会などを始めとする事業の企画・立案・調整・報告などを行っています。
運営管理費にはこれら職員の人件費を含め、社屋の維持管理費・諸税などが含まれています。

奉仕団等の支援

67,378,473円

- 基礎研修会 5回
- 中級研修会 4回
- 防災などの研修会 30回
- 奉仕団の活動への助成 52回
- 奉仕団の研修への助成 37回



研修会での防災マップ作り



地元イベントでの炊き出し

災害救護・国際活動

78,628,102円

- 北海道胆振東部地震への救護班・こころのケア班・本部要員派遣
- 災害救護訓練の実施・参加 4会場
- 災害救護のための各種研修 11会場
- 防災教育事業の普及 16会場
- 災害救援車両の市町村への配備 10台
- 災害用天幕の市町村への配備 10台
- 災害用炊き出し釜の市町村への配備 10台
- 毛布や緊急セットの配備
- カンボジアやネパール等への救急法等普及事業・青少年赤十字海外支援事業



北海道胆振東部地震での医療救護



安平町での炊き出し支援



赤十字災害救援車「博愛号」

救急法などの普及

11,968,895円

- 救急法講習会 399回
- 救急法指導員養成講習 1会場
- 救急法指導員研修会 10会場
- 水上安全法講習会 88会場
- 水上安全法指導員研修会 2会場
- 雪上安全法講習会 55回
- 雪上安全法指導員養成講習 1会場
- 雪上安全法指導員研修会 2会場
- 健康生活支援講習会 53回
- 健康生活支援指導員養成講習 1会場
- 健康生活支援指導員研修会 6会場
- 幼児安全法講習会 111回
- 幼児安全法指導員研修会 6会場
- 健康増進セミナー 1回



健康生活支援講習指導員の養成



健康増進セミナー

赤十字災害救援車「博愛号」引渡式

7月31日、北海道支部にて『赤十字災害救援車「博愛号」引渡式』を実施しました。

当車両は、災害発生時に毛布などの救援物資の運搬や避難所間の情報伝達などで活躍する車両で、今年は10市町村に配備しました。

今回、配備される10台のうちの1台は、よつ葉乳業株式会社より寄贈いただきました。同社は、平成9年より毎年寄贈いただいております今年度で30台目となります。

なお、今年度、配備した市町村は下記のとおりとなっております。



ゴールドキーを手渡す
「よつ葉乳業(株)」取締役執行役員管理統括部長 畑山 昭典 様(右)

【配備先】 砂川市、伊達市、洞爺湖町、長万部町、福島町、奥尻町、増毛町、滝上町、更別村、本別町

赤十字健康増進セミナー



気持ち良い青空のもと心も体もリフレッシュ

9月3日、北海道支部を会場に、赤十字健康増進セミナーを実施しました。

国際ノルディックウォーキング連盟ナショナルトレーナーでもある、北海道ノルディックウォーキング赤十字奉仕団委員長・藤田隆明氏ほか5名の指導者による、ノルディックウォーキングとポールストレッチングを行ない、一般参加者28名に対し、生涯笑顔で自立歩行ができるよう、疲れない歩き方について、実際にポールを使用して外をウォーキングするなど、体験いただきました。

新しい仲間が増えました(青少年赤十字加盟登録式)

7月25日(木)、札幌市立月寒小学校で青少年赤十字加盟登録式が行われ全校生徒が新たにメンバーの一員となりました。

登録式では、北海道支部 大崎事務局長から生徒代表へ青少年赤十字旗の授与が行われました。

今後は、青少年赤十字の態度目標である『気づき』『考え』『実行する』を実践し、生きる力が育まれることが期待されます。



青少年赤十字旗を受取る生徒代表

わが町の赤十字奉仕団

地域に根ざしたさまざまな活動をしている赤十字奉仕団。その中からいくつかの奉仕団の取り組みをご紹介します。

～旭川市芸能赤十字奉仕団～

大雪山のふもと、わりと四季のはっきりした街で、旭川市芸能赤十字奉仕団は活動しています。

創団は、昭和44年5月、今年で50年になりました。

心の癒しの部分を担当するので、出来るだけ多くの芸部門の方の参加を考え、入団促進に努力してまいりました。

お蔭様で現在9部門の参加で構成されています。

近郊に教室をもたれている部門が多く、比較的多い団員数で680名ほどで活動しております。

活動状況は、赤十字フェスティバルの参加協力や各養護施設の訪問、そして慰問、地域高齢者団体の式典慰問等、事務局を通して受けるのが、年15件ほどでまた、直接各部門が行っている奉仕活動は30件ほどあります。

大きな催しの際には義援金の募金活動等、慰問は年50件弱の活動回数になっています。

特に養護施設等で活動している時には、嬉しい事があります。

舞台から来観者が感激して頂いている姿を見ますと逆に元気づけられ、奉仕活動への有り難さが分かります。

これからも自分たちの為になることも考え、一生懸命頑張っていこうと思います。

それから今年は50年の節目となりましたので9月29日記念式典を開催し、礎を築いて頂いた先輩に感謝の心を持ちまた、この節目を機会に団員一同、心あらたに赤十字精神に基づき奉仕活動を続け、歴史を積み重ねて行きたいと思っています。



たくさんのご協力ありがとうございました

活動資金にご協力いただき、表彰された方々を紹介します(敬称略)

金色有功章

- [札幌市] 岩本 節子
関本 智津子
高橋 通博
札幌土建工業株式会社
- [釧路市] 小畑 寛
株式会社三宝商会
- [富良野市] 株式会社サンエービルド工業
- [伊達市] 石崎 歌子
- [北斗市] 井上 謙

社長感謝状

- [札幌市] 札幌市赤十字奉仕団
- [伊達市] 壽浅 弘幸
- [千歳市] 一般社団法人 日本血液製剤機構千歳工場
中山建設株式会社
- [深川市] 北出 正雄

銀色有功章

- [札幌市] 平野 恵
白田 裕二
持本 誠
札幌市赤十字奉仕団北白石分団
青池水産株式会社
大原学園
- [函館市] 今 均
樺電工業株式会社
- [釧路市] 森 圭子
株式会社メルブ
三ツ輪建設工業株式会社
トワ計装株式会社
- [岩見沢市] 中村 耕治
- [千歳市] 株式会社丹治秀工業
- [富良野市] 一戸 誠治
- [置戸町] 長谷川 岳尚
- [当別町] 新森 敏幸

(H31年3月～R1年6月表彰伝達分)

令和元年度 第1回評議員会



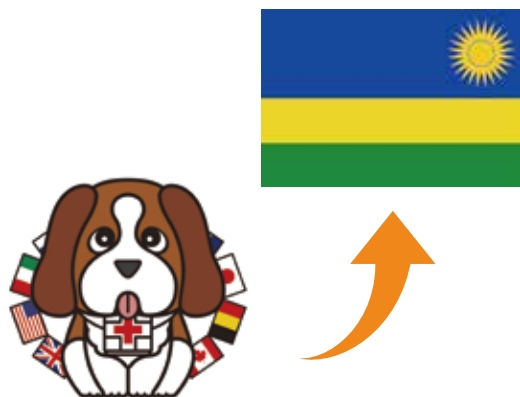
6月11日(火)に令和元年度第1回評議員会が北海道支部で開催され、平成30年度の一般・医療・社会福祉のそれぞれの事業報告及び歳入歳出決算が承認されました。

ルワンダ共和国へ支部職員を派遣

9月29日(日)～10月11日(金)の13日間、アフリカのルワンダ共和国へ北海道支部 松井企画広報係長を派遣しています。

この派遣は、日本赤十字社で支部職員を開発協力事業地へ派遣し、現地の赤十字担当者と意見交換を通じ、地域課題や赤十字事業の向上について相互に学ぶとともに派遣で得た知見を支部事業へ還元することを目的としています。

現地での活動については、次号「赤十字ほっかいどう冬号」で報告します。



北海道胆振東部地震義援金受付・送金状況

北海道胆振東部地震義援金の受付開始から1年が経過しました。

これまでに、道内のみならず、全国各地から55億円を超える義援金が寄せられています。


お寄せいただいた義援金は、全て配分委員会を通じて被災市町村へ送金され、被災された方々へ贈られています。

同義援金の受付期間は、令和2年3月31日までとなっておりますので、引き続き皆様からのご支援をお願いいたします。

〈令和元年7月末現在 受付・送金状況〉

- ・受付額 55億2,930万3,501円(令和元年7月31日現在)
- ・送金額 55億 911万7,723円(令和元年7月19日現在)

発行日 令和元年10月1日

発行元  **日本赤十字社** 北海道支部
Japanese Red Cross Society
札幌市中央区北1条西5丁目
TEL:011-231-7126



公式facebookで情報発信中!

<https://www.facebook.com/hokkaido.jrc/>

日赤北海道



<http://www.hokkaido.jrc.or.jp/>